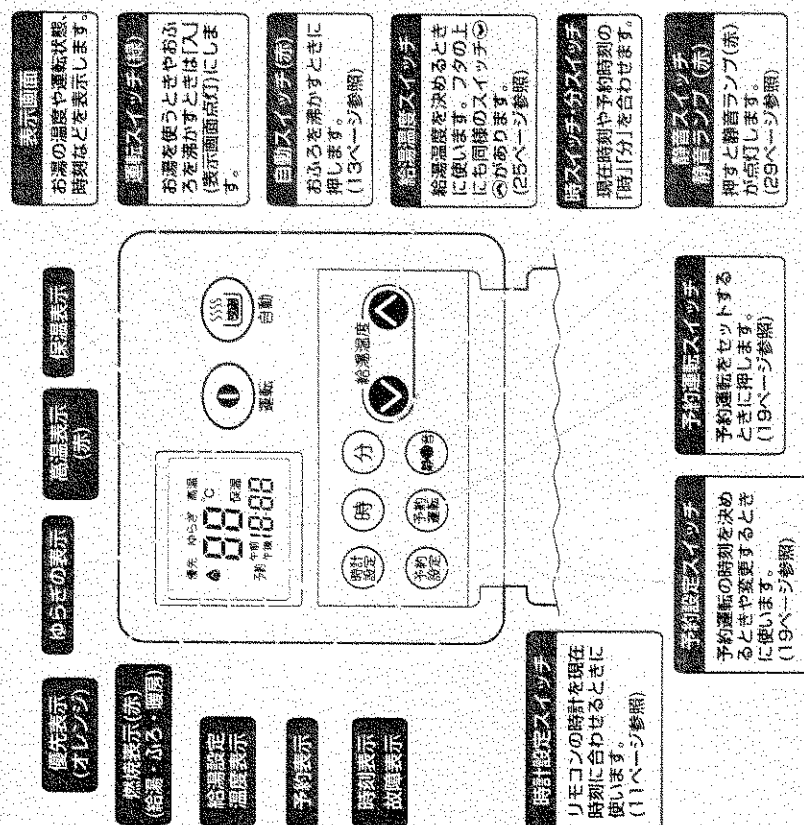


各部のなまえとはたらき (台所・増設 リモコン)

■台所リモコン(MC-61…静音スイッチ付きタイプ)

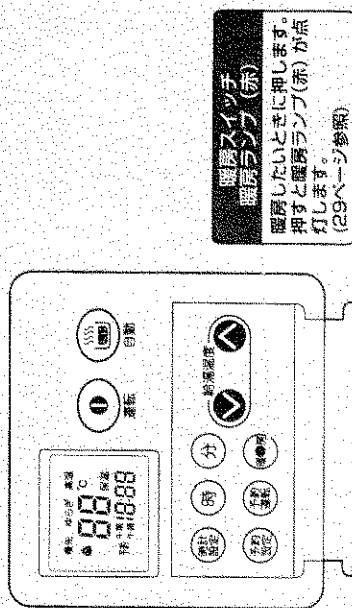
- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音がします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
- 点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音がよびお風呂への入浴の準備が完了した後は、運転スイッチが「入」のときに給湯運転開始スイッチ(29ページ参照)を押すことでお風呂の準備が完了します。
- この設定は浴室・台所・増設リモコン別々にできます。
- もとに戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

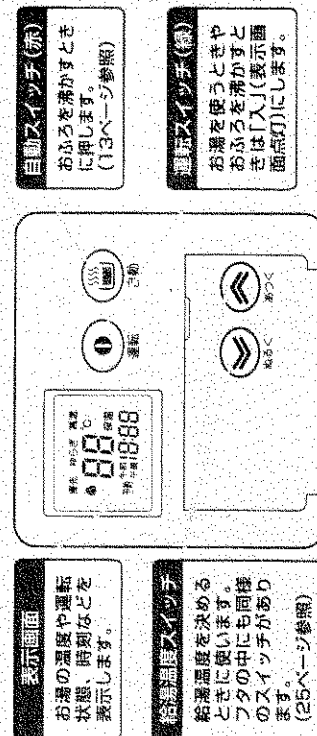
(MC-62…暖房スイッチ付きタイプ)

- 暖房スイッチ以外のなまえとはたらきは、前ページのMC-61と同じです。前ページをご覧ください。



■増設リモコン(SC-60)

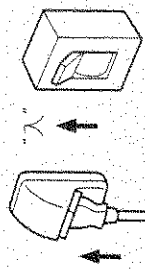
- 洗面所などにこのリモコンを取り付けられれば手もとで給湯温度を変えることができ、お風呂を沸かしでもできる便利なリモコンです。
- スイッチを操作した場合は、操作確認音と表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



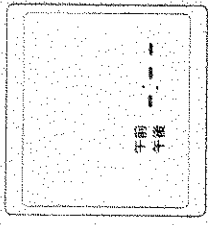
使用方法① 時計を合わせましょう

台所リモコンで操作します。

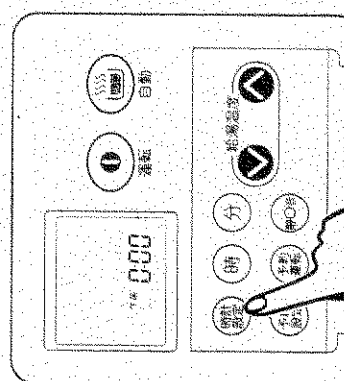
1 電源プラグをコンセントに差し込みます。



●電源プラグを差し込む（または分電盤の専用スイッチを「入」にする）と、下図の表示が点滅します。



2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。



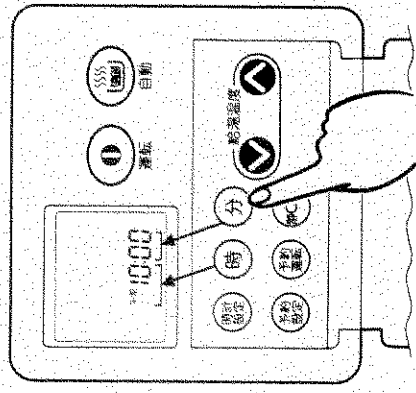
●時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が「00」となり点滅します。

はじめてお使いのときは、まず...

1. 給水元栓を全開にします。
お湯の使用場所
機器の下部
2. 給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから閉めます。
(すべての給湯栓について)
機器の下部の壁
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
機器の下部
4. ガス栓を全開にします。
全開にする
機器の下部

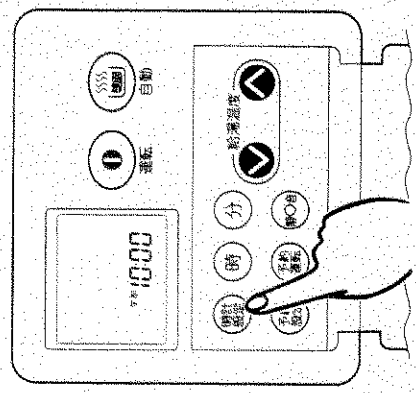
●電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には、---の表示に戻ります。
再度時刻を合わせてください。

3 時計・分スイッチで現在の時刻に合わせます。



●時計・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。
※押し続けると、連続的に数字が変わります。
※表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。

●午前と午後を間違えないようにご注意ください。



●時計設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
●台所リモコンで時刻合わせが完了すると同時に、浴室リモコン・増設リモコンにも時刻が表示されます。

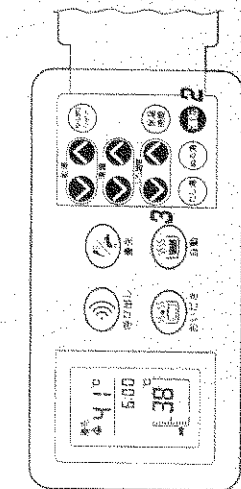
4 時計設定スイッチを再度押します。

使用方法②

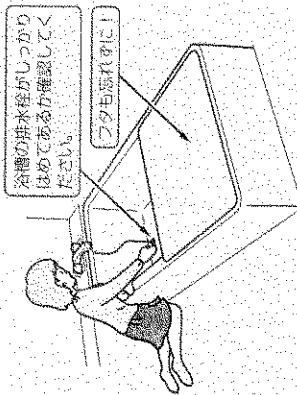
おふろを自動で沸かします

浴室・台所・増設リモコンのどれでも操作できます。

おふろの温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、15～17ページをご覧ください。

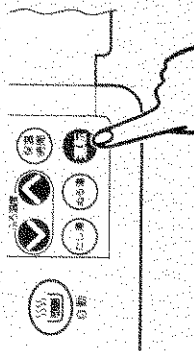


1 浴槽に排水栓とフタをします。



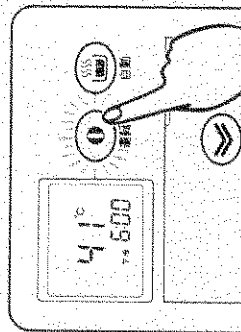
2 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合



表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコンまたは増設リモコンの場合



・自動湯はり中や、自動お湯はり中は、循環アダプターから泡が出てくる場合があります。
・湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用すると湯はりが中断され、給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ます。お湯を使い終わると湯はり運転を再開します。
・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチ(赤)が点灯していることを確認してから行ってください。

・保温の表示が出ている間にあるくぼきスイッチ(2ページ参照)を押すか、ふろ温度調節スイッチの「」を押してふろ設定温度を上げてください。

・全自動タイプの機種の場合は、保温の表示が出ている間は水位が約4センチ下がるので自動的にたし湯します。この間にお湯をもっと増やしたいときは、たし湯スイッチ(24ページ参照)を押してください。約20リットルのお湯を追加します。

・自動湯はりタイプの機種で残り湯がある場合

・残り湯で循環金具がかかってくれていない場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。

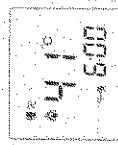
・残り湯で循環金具がかかっている場合、水位が多少バラツキます。

・特に残り湯の温度がふろ設定温度に近いときは、約16リットルだけ湯はります。設定した量になりません。

・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返し感ささないでください。お湯があふれることがあります。

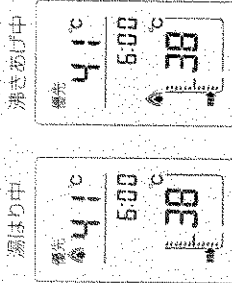
3 自動スイッチを押します。

(台所リモコン)
(増設リモコン)



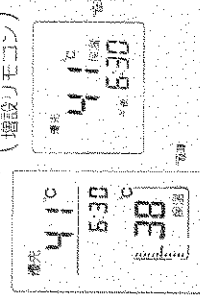
・自動スイッチが赤く光り、浴槽に湯はりをはじめます。このとき表示画面には上図の表示が出ます。

(浴室リモコン)

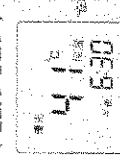


湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れないでください。

(浴室リモコン)

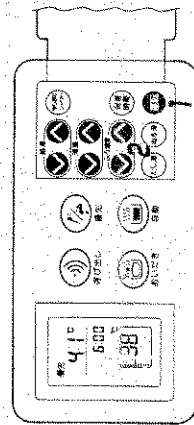


(台所リモコン)
(増設リモコン)



使用方法③ ふる温度の調節方法

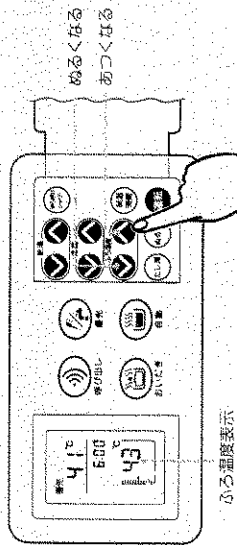
浴室リモコンで操作します。



1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にあるふる温度調節スイッチを押します。



- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。1できざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上になると、スイッチを一回ずつ押してください。

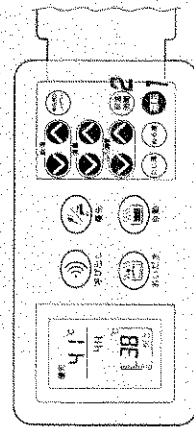
※温度表示はめやすです。



- ★あとは自動スイッチを押すと、設定した温度に沸きあがり、自動的にストップします。

使用方法④ 保温時間の変更方法

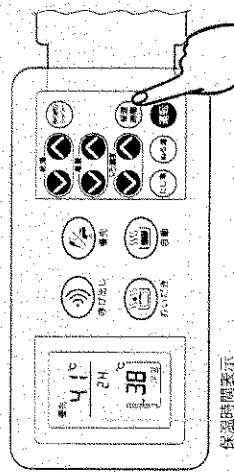
浴室リモコンで操作します。



1 表示画面の点灯を確かめます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

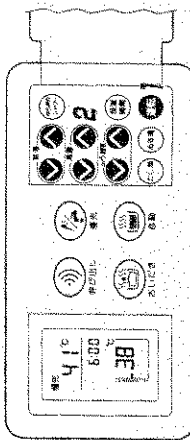
2 浴室リモコンのフタの中にある保温時間スイッチを押します。



- 表示画面の時刻表示部に現在設定されている保温時間が約5秒間表示され、保温の表示が点滅します。はじめは4時間(表示は4Hとなり、Hは時間の単位を表わします)に設定されています。
- 保温時間が表示されている間にもう一度保温時間スイッチを押すと、数字が4→2→1→0→8→5→4(単位はすべて時間です)の順に切り替わりますので、お好みの保温時間にしてください。上図は2時間に設定した場合の例です。
- 最後に保温時間スイッチを押してから約5秒で、表示が時刻表示に戻ります。これで設定完了です。

使用方法⑤ お風呂のお湯の量(水位)の調節方法

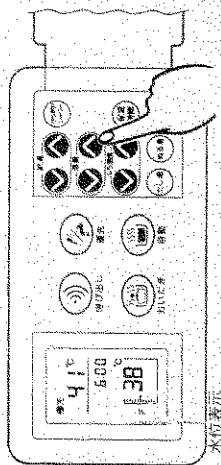
浴室リモコンで操作します。



運転スイッチが「入」のときにフタの中に
ある湯量調節スイッチを押します。

■全自動タイプと自動湯はりタイプでは表示が異なります。
それぞれ次のようになっています。

全自動タイプの場合

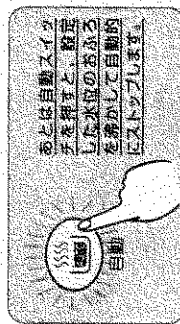


●全自動タイプという湯量(水位)とは、循環金具から9cm上まで湯はりするというめやすをいいます。

●はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目(赤い線)になります。この設定の場合、15人用浴槽では循環金具から約25cmの位置まで湯はりして自動停止します。

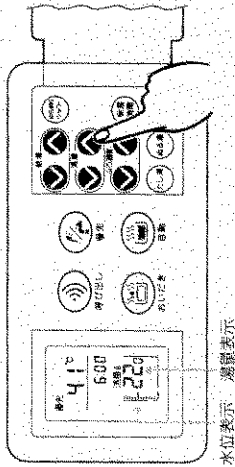
●湯量調節スイッチの●を押すたびに水位表示は1目盛上がり、●を押すたびに1目盛下がります。1目盛で水位が約3cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環金具から約10cm上、最高で約43cm上になります。

電話本体が洋式バス用の設定になっている場合、水位を下から6番目(赤い線)に設定すると循環金具から約17cm上まで湯はります。1目盛は約2cmです。



あとは自動スイッチを押すと、設定した水位のお湯を過はりして自動的にストップします。

自動湯はりタイプの場合



●自動湯はりタイプでいう湯量とは、自動スイッチを押したときに浴槽に湯はりするお湯の量をいいます。

●はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目(赤い線)で示されます。

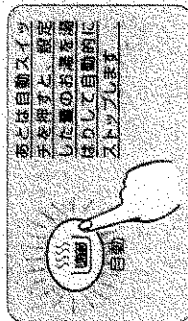
●湯量調節スイッチの●を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。ただし、子供のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには●スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっていきます。また、400および990リットルに設定したとき、水位表示は表示されません。

●湯量調節スイッチの●を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は右表のようにへっていきます。ただし80リットルや60リットルに設定するときには●スイッチを1秒以上押し続けてください。

●湯量調節スイッチを押してから約5秒間は、表示画面のふろ設定温度が上図のような湯量表示に変わります。上図は湯量を220リットルに設定した場合の例です。湯量表示は約5秒たつと自動的にふろ設定温度表示に戻ります。

湯量	水位表示
(990) 表示なし	(990) 表示なし
(400) 表示なし	(400) 表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

●を押すとふえる 初期設定 ●を押すとへる



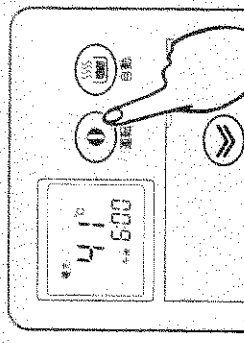
あとは自動スイッチを押すと、設定した量のお湯を過はりして自動的にストップします。

使用方法⑥

好きな時間にお風呂を沸かす「予約運転」のしかた

台所リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押します。

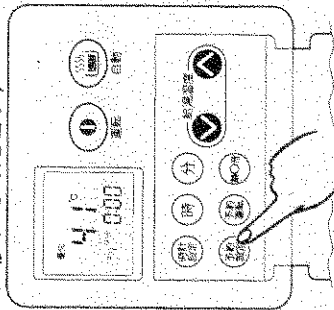


表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。時計の現在時刻があらわになっているのを確認してください。

予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。毎日同じ時間にお風呂を沸かす（予約時間を変更しない）場合は、1・5・6の操作だけで結構です。また、予約時刻を調整したいときは、予約設定スイッチを押してください。約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。

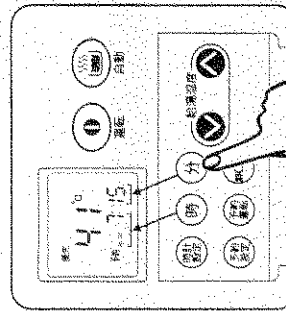
2 台所リモコンのフタの中にある予約設定スイッチを押します。

（続いて約10秒以内に3の操作に移ってください）



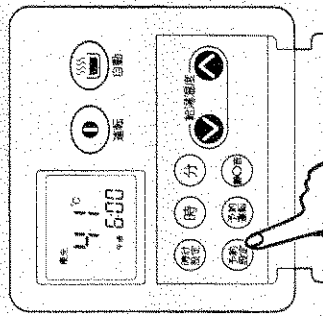
予約設定スイッチを押すと表示画面に「予約」の文字と「時00分」が点滅します。

3 時・分スイッチで湯はり完了時刻を設定します。



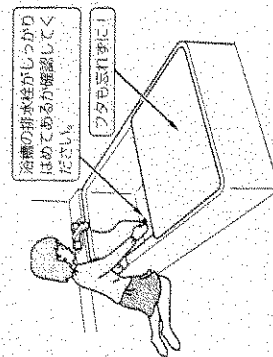
湯はりの完了時刻を、時・分スイッチで表示画面に表示させます。（午前・午後後に注意）
押し続けると連続的に数字が変わります。
上図は午後7時15分に湯はり完了したい場合の例です。

4 再度、予約設定スイッチを押します。



約3秒後に表示が現在時刻に戻り、「予約」の表示も消灯します。
予約設定スイッチを押さなかった場合は、約10秒後に自動的に設定して現在時刻の表示が変わります。

5 浴槽に排水栓とフタをします。



浴槽の排水栓がしっかりはめられているか確認してください。

フタも忘れずに

・浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。

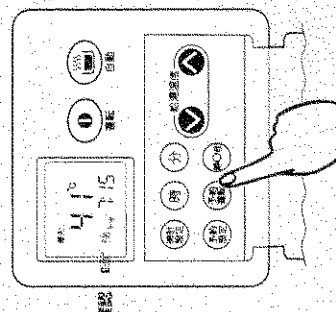
・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内にすると、浴槽が大きいときや機器への給水圧力が低いときなどに、予約時刻になってもお風呂が沸かしくじりしないことがあります。

・予約の変更はまず予約運転スイッチを押して予約を解除し、あとは2～6の手順で予約を直します。

・予約運転を中止したいときは、もう一度予約運転スイッチを押してください。

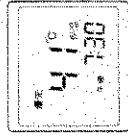
・予約の表示が点灯しているときは、運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされ、予約運転の機能がたたらなくなります。

6 予約運転スイッチを押します。



表示画面に「予約」の表示と3で決めた時刻が表示され、約3秒後に現在時刻に戻ります。
これで予約ができます。あとは予約した時刻に沸きあがるよう、自動的に湯はりをはじめます。

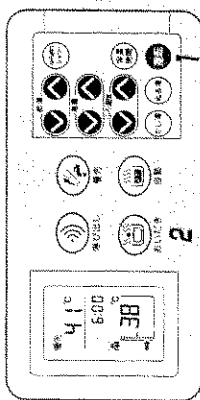
※予約した時刻になると「予約」の表示が消え、約5秒間（ビッピッと約5回）ブザーでお知らせします。同時に「保温」の表示が点灯して保温運転に入ります。



使用方法⑦

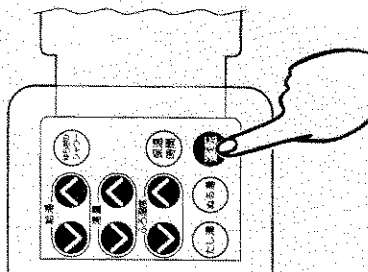
おいだきしたいときは・・・少しあつめにしたいときや昨日の残り湯を沸かしたいとき

浴室リモコンで操作します。



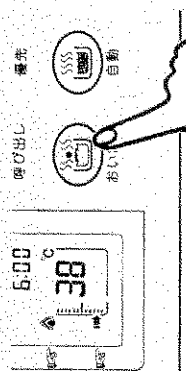
1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

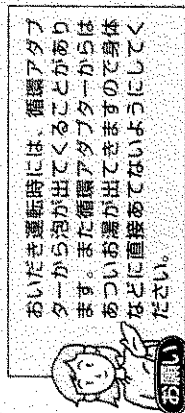


2 浴室リモコンのおいだきスイッチを押します。

浴槽にお湯または水が入っている場合



- ※上の「」はおいだき運転中の表示です。
- おいだきスイッチが緑色に光り、約6分間おいだきします。途中で止めたいときはもう一度おいだきスイッチを押してください。

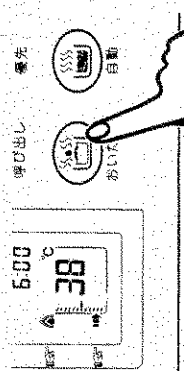


おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくることがあります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようご注意ください。

- 浴槽のお湯の温度がふろ設定温度よりぬるい場合には、ふろ設定温度まで沸きあげます。
- おいだきが終わるとおいだきスイッチ（緑）が消灯します。

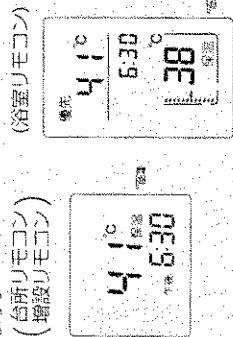
浴槽にお湯または水が入っていない場合

※以下の動きは全自動タイプのみ



- ※上の「」はおいだき運転中の表示です。
- おいだきスイッチが緑色に光り、浴槽に約6リットル湯はりします。全自動タイプの機器は、このあと自動運転に切り替わります。

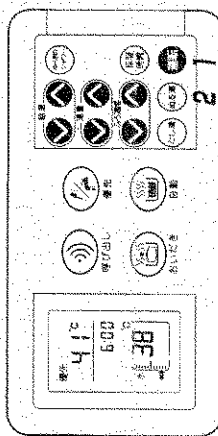
- おふろが沸きあがると、約5秒間ブザーでお知らせし、保温の表示が出て保温運転に入ります。



- ※上の「」は湯はり運転中の表示です。
- 自動運転に切り替わるとおいだきスイッチ（緑）が消灯し、自動スイッチが赤く光ります。途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。
- 保温運転が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ（赤）も消灯します。

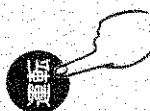
使用方法⑧ お風呂をぬるくするには

浴室リモコンで操作します。



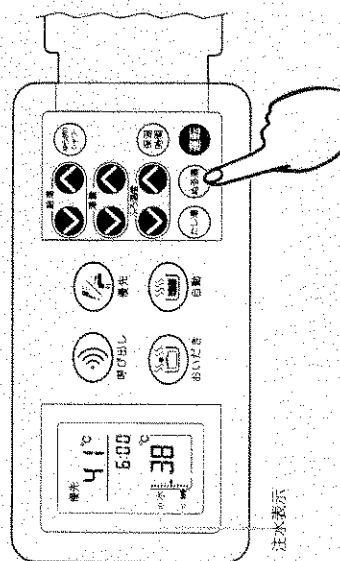
給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(2ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
 ・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)を使用すると、ぬる湯運転は一時中断され、ぬる湯運転表示は停止状態になります。このとき給湯性からは水が出ることになります。
 ・ぬる湯運転中、電源アダプターから泡が出る場合があります。

1 表示画面の点灯を確かめます。



表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

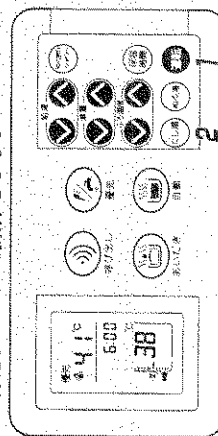
2 浴室リモコンのフタの中にあるぬる湯スイッチを押します。



- ・浴槽に約10リットル注水します。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ・ぬる湯運転中は上図の注水表示が点灯します。
- ・途中で止めたいときはもう一度ぬる湯スイッチを押します。注水表示が消えます。
- ・ぬる湯運転が終わると、注水表示が消えます。

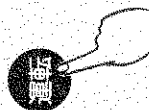
使用方法⑨ お湯をふやしたいときは

浴室リモコンで操作します。



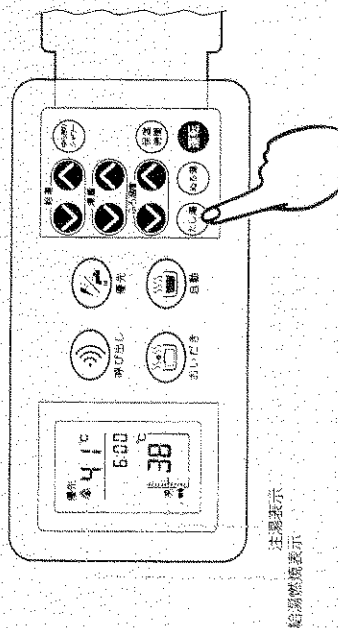
給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(2ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
 ・たし湯運転中に給湯(シャワー)を使用すると、たし湯運転は一時中断され、ぬる湯運転表示は停止状態になります。このとき給湯性からは水が出ることになります。
 ・たし湯運転中、電源アダプターから泡が出る場合があります。

1 表示画面の点灯を確かめます。



表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にあるたし湯スイッチを押します。

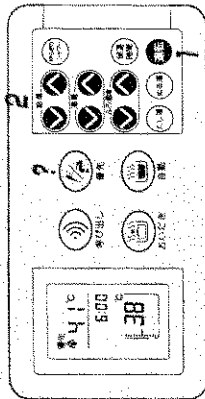


- ・浴槽にふる設定温度(上の例では約38℃)のお湯約20リットルを湯はりします。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ・たし湯運転中は上図の注湯表示が点灯します。
- ・途中で止めたいときはもう一度たし湯スイッチを押します。
- ・たし湯運転が止まり、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
- ・たし湯運転が終わると、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

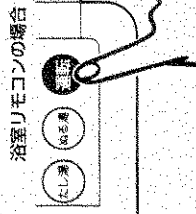
使用方法⑩

シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

浴室・台所・増設リモコンの
どれでも操作できます。

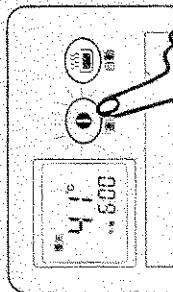


1 運転スイッチを押します。



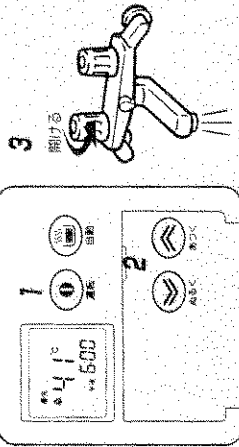
表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合

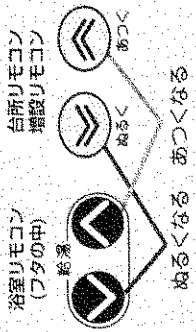


運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は優先スイッチがオレンジ色に光ります。

シャワーを使用するときは、浴室リモコンの優先スイッチがオレンジ色に光っていることを確認してください。



2 給湯温度スイッチで温度を決めます。



37℃から60℃まで上記の12段階に設定でき、温度は表示画面に表示されます。下図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。おおよそのめやすとお考えください。

浴室リモコン (台所リモコン)

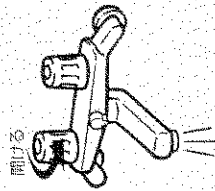


給湯設定温度が60℃のときは、上図のよう
な高温表示(赤)が点灯して注意を促します。

△警告

- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。
- お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



お湯を使っている間は、表示画面に下図の
ような燃焼表示が点灯します。

(浴室リモコン) (台所リモコン)



湯温を絞る(毎分約2リットル以下にする)とバーナーの火が消えます。

? 運転スイッチが「入」になっ ていて、給湯温 度が調節できない?

給湯温度が調節できないのは、表示画面に「優先」の表示
が出ているリモコンだけです。これはやけどなどの事
故を防ぐためです。

(浴室リモコン) (台所リモコン)



この優先表示を切り替えるには浴室リモコンの優先ス
イッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優
先表示が浴室リモコン・台所・増設リモコン・浴室リモ
コン...と交互に切り替わります。

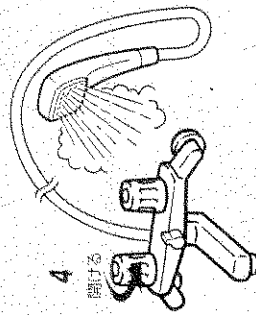
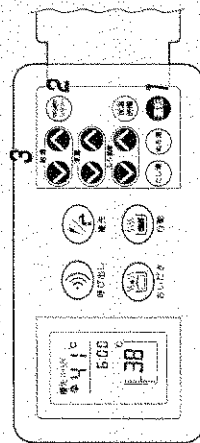
浴室リモコン優先のときは優
先スイッチがオレンジ色に光
ります。



- お風呂の上げ湯の際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 湯温が給湯能力以上の場合は、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出ることをあります。
- 湯温を絞ってお使いください。
- 給湯温度が低い場合は、リモコンの給湯温度表示よりもぬるいお湯が出ることをあります。

使用方法① ゆらぎのシャワーの使い方

浴室リモコンで操作します。



警告

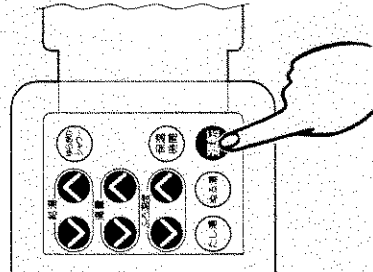
- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っているため、次にシャワーを使用する際は十分に高温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
 - 妊婦中の方
 - 医者から入浴を禁じられている方
 - お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - 高血圧の方/体力の弱っている方/体調の悪い方

注意

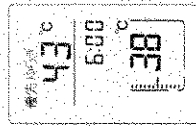
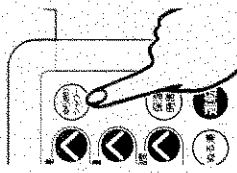
- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
- なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



- 表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。

ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10度ぬるい温度間で、毎回頭つたパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。

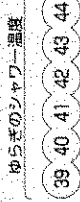
※湯温は湯出口での温度です。

- 湯あかりの体が暖まるとともにゆらぎのシャワーを使用すると、湯あかりの体・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざまし促進にも有効です。

3 給湯温度スイッチでシャワーの温度を決めます。



- 設定できる温度は39℃～44℃の6段階です。

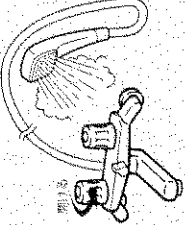


- 給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

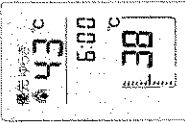
ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯設定をお湯を使うと、ゆらぎのシャワー側は湯温が変化しながらかけてきます。

ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの湯あかりスイッチを押すと、湯あかりが台所および浴室リモコンに移り、給湯設定温度も台所および浴室リモコンで設定されている温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は湯あかりスイッチを押さないでください。

4 シャワージェルを開けばゆらぎのシャワーが楽しめます。



- このとき表示画面には下図のような湯燃短表示が出ます。



- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワージェルを閉めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し表示画面のゆらぎの表示が消えます。

使用方法¹² 暖房の使い方

放熱器や床暖房コントローラで操作します。

△注意

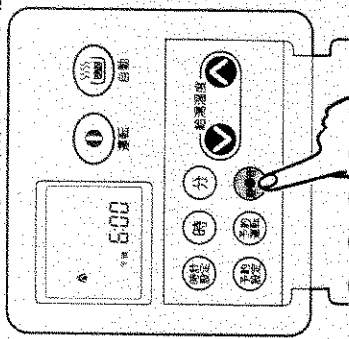
- ・床暖房の上に電気カーベットをひかないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。
- ・カーベット式床暖房の上に穀類などの物を落さないでください。湯水パイプが破損します。
- ・パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- ・床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用の場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児、お年寄り、病人など自分の感覚で様子を動かせない方
 - ・疲労の激しいときや深酒をしたとき
 - ・皮膚の弱い方

暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調節します。

(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

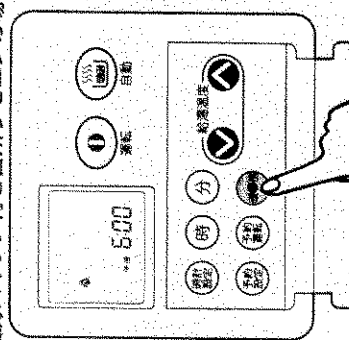
- ・暖房運転中は表示画面に暖房燃焼表示(●)が点灯します。(時刻表示は台所リモコン設置時のみ)

■静音スイッチ付き台所リモコンの場合



- ・暖房開始時の運転音を下げ、運転します。(このとき、暖房能力は少し低下します)
- ・静音運転中は静音スイッチ中央の静音ランプ(赤)が点灯します。
- ※静音スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたります。
- ※通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、「静音」スイッチを押すことで暖房能力を少し低下させ、運転音を下げることができます。

■暖房スイッチ付き台所リモコンの場合



- ・放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチの「入」「切」で機器の暖房運転ができない(エアコンタイプの放熱器でない)場合は、台所リモコンのフタの中にある暖房スイッチを「入」にしてから放熱器を操作してください。
- ・暖房スイッチが「入」のときは、暖房スイッチ中央の暖房ランプ(赤)が点灯します。
- ※暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたります。

冬期の凍結による破損防止について

- ・暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

△注意

- ・冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防ぐために、次のような処置をお取りください。
- ・外気温が極端に低く(−15℃以下)な日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その①では凍結予防ができません。このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- ・凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

暖房の凍結予防について

- ・外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。(電源プラグをコンセントから抜かないでください)
- ・「※」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- ・不凍液を入れる方法もあります。



対策その①

凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

- 操作のしかた
 - ・この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯側)と自動ポンプ運転装置(ふろ・暖房側)が組み込まれています。
 - ・電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんのでご注意ください。
 - ・機器が外気温を感じ、自動的に作動します。このため寒冷時には、「浴槽の残り湯を捨てず、そのまま」にしておいてください。また、水位が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。

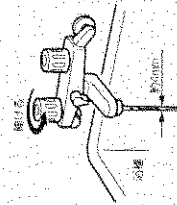
対策その②

給湯栓から水を流す方法

- ・この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろ・暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その①同様電源プラグをコンセントから抜かず、浴槽の循環アダプターより5cm以上上まで残り湯があることを確認してください。

■操作のしかた

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
 - ②ガス栓が全開になっていることを確認してください。(暖房の凍結予防のため)
 - ③お風呂の給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を流しておいてください。
- ※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
- ※サーモカラランやワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。



△注意

- ・水量が不安定なことがあります。急のため、30分ぐらゐれにもう一度水量を確認ください。
- ・サーモカラランやワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

冬期の凍結による破損防止について

対策その③

水抜きによる方法

●機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの「水抜き」を行ってください。

※給湯使用後は給湯器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の「水抜き」は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときのみ行ってください。

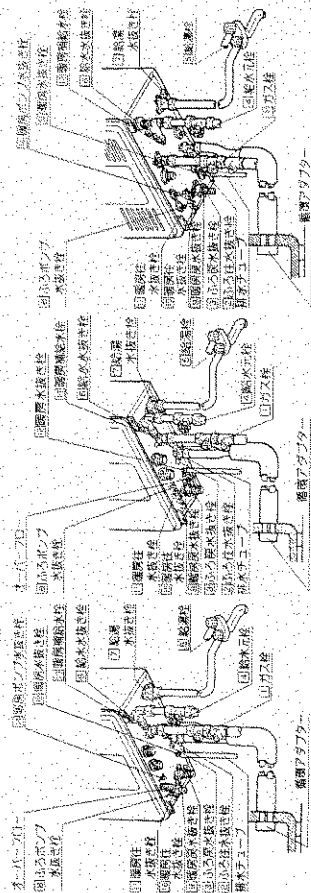
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に貼ってあるラベルで分かります。

■暖房側・ふろ側で行います。

1. 給湯側の水抜き

- ①ガス栓IIを閉めてください。
- ②給水元栓IIを閉めてください。
- ③給湯栓IIをすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
- ④給水水抜き栓II、給湯水抜き栓IIを開けてください。

HT-248・308シリーズZ0AWQ・SWQ HT-248・308シリーズZ0AWQ・SWQ
タイプおよびU44-445シリーズの場合 タイプ以外の場合



2. ふろ側の水抜き

- ①ガス栓IIを開けてください。
 - ②給水元栓IIが開いていることを確認してください。
 - ③浴槽の水を排水してください。（浴槽の排水栓を抜いてください）
 - ④浴室リモコンのおいだしスイッチを押して（「入」にする）、浴槽の循環アダプターから水（お湯）が出てくることを確認してください。
 - ⑤排水が止まった後再度おいだしスイッチを押して（「切」にする）ください。
- ※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。

（暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください）

- ⑥ふろ排水水抜き栓II、ふろ排水水抜き栓II、ふろ排水水抜き栓IIを開けてください。
- ⑦ガス栓IIを閉めてください。



- ・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- ・ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

■暖房側の水抜き

※暖房側の「水抜き」は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に貼ってあるラベルで分かります。

- ①ガス栓IIを閉めてください。
- ②給水元栓IIを開けてください。
- ③暖房水抜き栓IIを開けてください。
- ④排水が止まった後、排水チューブを暖房水抜き栓II、II、II、II（II、II、II、II）に付けて排水水抜き栓IIを開けてください。

HT-248・308シリーズのAWQ・SWQ・AQ・SQタイプ以外に付けて排水水抜き栓IIを開けてください。

※リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。

- ⑤電源プラグを抜いてください。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）

「水抜き」をした機器を、次に使うときは…

1. 機器給湯側に通水してください。

- ①給湯栓IIをすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
- ②給水水抜き栓II、給湯水抜き栓IIを開けてください。
- ③給水元栓IIを全開にしてください。
- ④給湯栓IIを開けて通水を確認した後、給湯栓IIを閉めてください。



再度使う場合の「通水」は、給湯側から行ってください。

2. 機器ふろ側に通水してください。

- ①ふろ排水水抜き栓II、ふろ排水水抜き栓II、ポンプ排水水抜き栓IIをすべて閉めてください。
- ②暖房水抜き栓II、II、II、II、II、II、II、II（II、II、II、II、II、II、II、II）をすべて閉めてください。
- ③電源プラグをコンセントに差し込んでください。（分電盤の専用スイッチを「入」にしてください）
- ④ガス栓IIを全開にしてください。
- ⑤リモコンの自動スイッチを押す（「入」にする）と自動的に注水されます。

※表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。

⑥もう一度自動スイッチを押す（「切」にする）と、湯はり中止します。

※通水後初めて暖房、自動、おいだしを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は暖房水抜き栓IIが開まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。

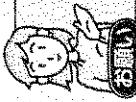
点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

点検…次のことにご注意ください。

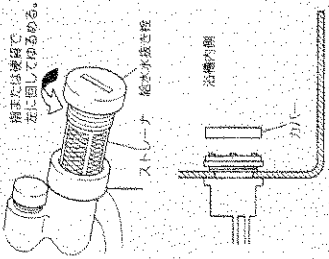
- 運転中に機器から異常音がかえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- そばに触えやすいものはありますか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったりは、早いかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたら読めなくなったりは、新しいラベルに張り替えてください。ラベルは販売店でお求めください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- ※定期点検を受ける方が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはその他のガス会社へお問い合わせください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。
お湯の量が少なくなります。

お手入れ方法は

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布を軽く絞って、軽く拭き取ってください。
- 洗剤、およびシンナー、ベンジンは使わないでください。
- 給水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあつたときはご注意ください。
- ※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。
- 機器の給気口（フロントカバーの穴）がほこりやゴミで詰まると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- 循環アダプターのお手入れは、循環アダプターのカバーをはずし、月1回以上掃除してください。カバーは手ではずさず。



故障！とお考えになる前に

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ココをチェック
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
故障表示が点滅する	停電していませんか。
「自動スイッチ」を押しても動かない	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはその他のガス会社へご連絡ください。
お湯は時間がかかると感じる	給水元栓が全開になっていますか。
「給湯機表示」が点灯しない	断水していませんか。
お湯が出ない	お風呂の排水栓はしっかりと閉まっていますか。
高温のお湯が出ない	（湯はり中に給湯を使用すると、給湯中は湯はりが停止します）
低温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。
湯温が変動して安定しない	給水元栓が全開になっていますか。
「ふる燃焼表示」が点灯しない	断水していませんか。
お風呂使用中に消火した	給湯機が十分開いていますか。
浴槽の水があつていぬ（ぬるい）	湯温調節は適切ですか。
浴槽の水が少ない（多い）	混合水栓やリモコンシンクバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください。
「風呂燃焼表示」が点灯しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。（27ページ参照）
	運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障（水漏れ制御装置）ですので、お買い上げの販売店またはその他のガス会社へご連絡ください。
	ガス栓が全開になっていますか。
	浴槽に水が入っていますか。
	ガス栓が全開になっていますか。
	風呂の温度の設定は適切ですか。（15ページ参照）
	湯はり量（水位）の設定は適切ですか。（17ページ参照）
	（浴槽の残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をした場合、水位が高くなる場合があります）
	ガス栓が全開になっていますか。

こんなときは故障ではありません。

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはちよりのカス会社へご連絡ください。

၆၈

現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室内モコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の2つのスイッチを同時に「秒」で押しつけた。



※電源プラグをコンセントから抜くだけでは、記録内容の消去できません。

浴槽の残り湯をすべて排水してください。

浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長かったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしつかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はりが開始されます。

寝転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。

運転中何回か停止しますが異常ではありません。

自動スイッチ
「入」

湯はり開始 → 湯はり停止 電源遮断 → ポンプ停止 湯はり開始 → ポンプ停止 湯はり終了点検表示

循環アダプターより水位が高くなるまで、繰り返し。

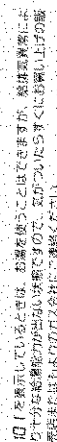
試験運転の終了まで、20~30分かかります。

5. 試運転が完了し、浴槽サイズと水位とを記憶しました。

仕樣

機器が故障するとリモコン表示画面の時刻表示部に下図のような故障表示が点滅します。

●再操作しても故障表示が点滅するときや下図以外の数字が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもりのガス会社へ修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



長期間使用しない場合は

1. ガス栓を開けます。


全開にする

燃焼の下頭
2. 給水栓を閉めます。


全閉にする

燃焼の下頭
3. 燃焼の水抜きをします。
 (31・32ページ参照)

4. 電源プラグを抜きます。
 (分電盤の専用スイッチを切にしてください。)


電源プラグを抜く

分電盤

※仕様は改題のため予告なく変更することがあります。

[illegible]

仕様

形 式	名	RUFH-2005AW(SAW)	RUFH-2005AA(SAA)	RUFH-2005AT(SAT)	RUFH-2005AB(SAB)
		RUFH-2005AWX(SAWX)	RUFH-2005AAX(SAAX)	RUFH-2005ATX(SATX)	RUFH-2005ABX(SABX)
品 名		HT-308RSA-SQ	HT-308RSA-SQ	HT-308RSA-SQ	HT-308RSA-SQ
		HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ
		HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ	HT-308RSA-SWQ
		HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ	HT-308RSA-AQ
品 名		HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ
		HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ
		HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ
		HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ	HT-308RSA-AWQ
設 置 方 式		屋 外 設 置			
外 形 寸 法 (mm)		幅480×奥行200 (AWQ, SWQタイプは250) ×高さ750			
重 量 (kg)		43			
給 湯	給湯リモコン	温度設定可変型 (約37℃~約46℃, 約50℃, 約60℃)			
	給湯リモコン	温度設定可変型 (約37℃~約46℃, 約50℃, 約60℃)			
点 検	点 検	温度設定可変型 (約37℃~約48℃)			
	点 検	2温度型は約80℃および約60℃, 1温度型は約80℃			
点 検 方 式		AC100V連続放電式 (ダイレクト点火)			
燃 料		10kPa (約0.1kgf/cm ²)			
燃 料 配 置		溶融亜鉛メッキ鋼板/カチオン電着塗装			
燃 料 配 置		ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板			
燃 料 配 置		脱脂鋼/ステンレス鋼板			
燃 料 配 置		20A (R3/4) オネジ			
燃 料 配 置		20A (R3/4) オネジ			
燃 料 配 置		AW, Q, SW, Qの低温注: CHジョイント用継手, 左記以外: 20A (G3/4)			
燃 料 配 置		15A (R1/2) オネジ			
燃 料 配 置		AC100V			
燃 料 配 置		DC24V以下			
燃 料 配 置		12			
燃 料 配 置		148			
燃 料 配 置		VCT (2芯) 2.0m/VCTまたはVCTF (2芯)			
安 全 装 置	流水検知装置 (水量センサ)	空気安全装置 (水位電極)			
	送風検知装置 (回転数検知方式)	凍結予防装置 (電ヒータ+ふるまひ防止装置)			
	炎検出装置 (フレイムロッド方式)	漏電安全装置 (漏電遮断器)			
	過熱防止安全装置 (ハイリミットスイッチ, 温度ヒューズ)				
	過圧防止安全装置 (スプリング式) 誘導保護装置 (サージアブソーバ)				

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

39

形 式	名	RUFH2405AW(SAW)	RUFH2405AA(SAA)	RUFH2405AT(SAT)	RUFH2405AB(SAB)	RUFH2405AJ(SAJ)	RUFH2405AK(SAK)
品 名		HT-368RSA-AQ	HT-368RSA-AQ	HT-368RSA-AQ	HT-368RSA-AQ	HT-368RSA-AQ	HT-368RSA-AQ
		HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ
		HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ	HT-368RSA-AWQ
		HT-368RSA-SQ	HT-368RSA-SQ	HT-368RSA-SQ	HT-368RSA-SQ	HT-368RSA-SQ	HT-368RSA-SQ
品 名		HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ
		HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ
		HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ
		HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ	HT-368RSA-SWQ
設 置 方 式		44-270	44-272	44-271	44-506	44-273	44-508
外 形 寸 法 (mm)		幅480×奥行250×高さ750					
重 量 (kg)		45					
給 湯	給湯リモコン	温度設定可変型 (約37℃~約46℃, 約50℃, 約60℃)					
	給湯リモコン	温度設定可変型 (約37℃~約46℃, 約50℃, 約60℃)					
燃 料	点 検	温度設定可変型 (約37℃~約48℃)					
	点 検	2温度型は約80℃および約60℃, 1温度型は約80℃					
燃 料 配 置		AC100V連続放電式 (タイレクト点火)					
燃 料 配 置		10kPa (約0.1kgf/cm ²)					
燃 料 配 置		溶融亜鉛メッキ鋼板/カチオン電着塗装					
燃 料 配 置		ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板					
燃 料 配 置		脱脂鋼/ステンレス鋼板					
燃 料 配 置		20A (R3/4) オネジ					
燃 料 配 置		20A (R3/4) オネジ					
燃 料 配 置		AW, Q, AW, Q, SW, Q, SW, Qの低温注: CHジョイント用継手, 左記以外: 20A (G3/4)					
燃 料 配 置		15A (R1/2) オネジ					
燃 料 配 置		AC100V					
燃 料 配 置		DC24V以下					
燃 料 配 置		12					
燃 料 配 置		305/370					
燃 料 配 置		158					
燃 料 配 置		VCT (2芯) 2.0m/VCTまたはVCTF (2芯)					
燃 料 配 置		流水検知装置 (水量センサ)					
燃 料 配 置		送風検知装置 (回転数検知方式)					
燃 料 配 置		炎検出装置 (フレイムロッド方式)					
燃 料 配 置		過熱防止安全装置 (ハイリミットスイッチ, 温度ヒューズ)					
燃 料 配 置		過圧防止安全装置 (スプリング式) 誘導保護装置 (サージアブソーバ)					

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

40

●RUFH-1615AW(SAW),AA(SAA),AT(SAT),AB(SAB)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	52.3(45.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	48.7(41.900)	32.6(28.000)	16.3(14.000)	14.9	9.3	9.3
LPガス用	52.3(3.75kg/h)	34.9(2.5kg/h)	17.4(1.25kg/h)	16.0	10.0	10.0

●RUFH-1615AWX(SAWX)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	52.3(45.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	52.3(45.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	51.2(44.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	51.2(44.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	51.2(44.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0

●RUFH-1615AAX(SAAX),ATX(SATX),ABX(SABX)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	51.2(44.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	51.2(44.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	51.2(44.000)	34.9(30.000)	17.4(15.000)	16.0	10.0	10.0
LPガス用	48.8(42.000)	33.7(29.000)	16.9(14.500)	15.5	9.7	9.7
LPガス用	46.5(42.000)	33.7(29.000)	16.9(14.500)	15.5	9.7	9.7

●RUFH-2005AW(SAW)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	61.0(52.500)	43.6(37.500)	17.4(15.000)	20.0	12.5	12.5
LPガス用	56.9(48.900)	40.6(34.900)	16.3(14.000)	18.6	11.6	11.6
LPガス用	61.0(4.37kg/h)	43.6(3.11kg/h)	17.4(1.25kg/h)	20.0	12.5	12.5

●RUFH-2005AWX(SAWX)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	58.1(50.000)	41.3(35.500)	17.4(15.000)	18.9	11.8	11.8
LPガス用	54.7(47.000)	39.0(33.500)	17.4(15.000)	17.9	11.2	11.2
LPガス用	53.5(46.000)	37.2(32.000)	17.4(15.000)	17.1	10.7	10.7

※出湯量は混合水栓を使用した場合の計算値です。

●RUFH-2005AA(SAA),AT(SAT),AB(SAB)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	59.9(51.500)	42.4(36.500)	17.4(15.000)	19.5	12.2	12.2
LPガス用	55.8(48.000)	39.5(34.000)	16.3(14.000)	18.1	11.3	11.3
LPガス用	58.1(4.17kg/h)	40.7(2.92kg/h)	17.4(1.25kg/h)	18.7	11.7	11.7

●RUFH-2005AAX(SAAX),ATX(SATX),ABX(SABX)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	57.0(49.000)	39.5(34.000)	17.4(15.000)	18.1	11.3	11.3
LPガス用	55.2(47.500)	38.4(33.000)	17.4(15.000)	17.6	11.0	11.0
LPガス用	53.5(46.000)	37.2(32.000)	17.4(15.000)	17.1	10.7	10.7

●RUFH-2405AW(SAW),AA(SAA),AT(SAT),AB(SAB),AU(SAU)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	69.2(59.500)	52.3(45.000)	17.4(15.000)	24.0	15.0	15.0
LPガス用	64.4(55.400)	48.7(41.900)	16.3(14.000)	22.3	13.9	13.9
LPガス用	69.2(4.94kg/h)	52.3(3.7kg/h)	17.4(1.25kg/h)	24.0	15.0	15.0

●RUFH-2045AWX(SAWX)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	69.2(59.500)	52.3(45.000)	17.4(15.000)	24.0	15.0	15.0
LPガス用	69.2(59.500)	52.3(45.000)	17.4(15.000)	24.0	15.0	15.0
LPガス用	66.3(57.000)	48.8(42.000)	17.4(15.000)	22.7	14.2	14.2
LPガス用	62.2(53.500)	48.8(42.000)	16.9(14.500)	22.4	14.0	14.0

●RUFH-2405AAX(SAAX),ATX(SATX),ABX(SABX),AUX(SAUX)

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW ()内は kcal/h	給湯	暖房	25℃上昇(L/min)	40℃上昇(L/min)	出湯能力(能力最大)
使用ガスグループ		給湯	暖房			
都市ガス用	69.2(59.500)	52.3(45.000)	17.4(15.000)	24.0	15.0	15.0
LPガス用	69.2(59.500)	52.3(45.000)	17.4(15.000)	24.0	15.0	15.0
LPガス用	66.3(57.000)	49.4(42.500)	17.4(15.000)	22.7	14.2	14.2
LPガス用	62.2(53.500)	48.8(42.000)	16.9(14.500)	22.4	14.0	14.0

※出湯量は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼されるときは

- P34～37の「故障」をお考えになる前に、の項をご確認ください。それでも聞らない場合、あるいは不明な場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店またはちよりのガス会社へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のなどをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・通帳（行名の目印など）
 - (2) 型番（フロントガラスの銘板に記載してあります。2ページ参照）
 - (3) 現象（表示画面の状態または故障表示など、できるだけ詳しく）
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この機器には保証書が添付されています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお読みになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理致します。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 乗組による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品は（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造開始後10年です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの接続が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増設などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはちよりのガス会社へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わるないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの風通や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご確認ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店またはちよりのガス会社へお問い合わせください。
- 冊子の「連絡先」一覧表を参照してください。